

# 民主島根

2019年  
**4.14**  
第1334号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## 尾村・大国氏 勝利、山崎氏 健闘 引き続き複数県議を死守 夏の参院選の勝利・躍進へ、さらに

島根県知事選・県議選の投票率が7日行われ、県議選では、松江市区の尾村利成候補が5期目の再選を果たし、出雲市区の大国陽介候補は大激戦を競り勝ち、2期目の当選を勝ち取りました。県知事選は、日本共産党が推薦した山崎泰子候補が健闘しました。

### 尾村氏5636票 10位

尾村氏は5636票を獲得し、10位(定数11)で議席を確保しました。選挙戦で尾村氏は、消費税10%増税、原発再稼働など安倍政権がすすめる暴走政治に対し、島根からもキツパリと1の審判を下す選挙だと訴えました。また、「島根県はくらしに冷たい県政だ」と批判し、「県にはお

### 大国氏6558票 9位

大国氏は大激戦の中、6558票を獲得し、9位(定数9)で再選を果たしました。選挙戦では「議員の仕事は県民の命とくらしを守ること」とした上で、「県民の命にかかわる島根原発の再稼働



支持者と当確を喜ぶ(左から)岩田剛地区委員長、尾村利成氏、中林よし子参院選挙区予定候補ら。(松江市袖師町・事務所)



万歳する(右から)後藤勝彦県委員長、大国陽介氏、石飛育久地区委員長、上代善雄書記長ら。(出雲市今市町・事務所)

は許さず、医療・介護の充実、子育て支援、仕事と雇用の確保など、くらし第一の県政をめざす」と訴えました。また、安倍政権がすすめる農産物の輸入自由化

### 山崎氏3369票 健闘

山崎氏は、3369票を獲得しました。選挙戦では、2011年3月の福島第1原発事故を教訓に「島根原発はもう動かさない。原発ゼロの島根を」と強調。原発30キロ圏内の自治体だけでなく、全県のみな



「電力会社の利益のために安全が確保されていない原発を動かそうとする勢力にも厳しい審判を下そう」と訴えました。

路線に反対し、農業を守ると強調。「憲法9条改憲、消費税10%増税など暴走を続ける安倍政治にサヨナラの審判を下す選挙にしよう」と呼びかけました。

また、県知事の政治姿勢

### 尾村・大国県議 街頭から決意

一夜明けた8日、日本共産党の尾村利成県議は松江市議団とともにJR松江駅前(写真下)で、大国陽介県議は民青同盟の吉井安見県委員長と出雲市内で街頭に立ち(写真上)、選挙支援への感謝と公約実現への決意を述べ



勢として、政府や官僚が繰り出す施策を鵜呑みにせず、県民の切なる願いをかなえる県政への転換を強調。子育て経験などでもアピールし、「中学卒業までの医療費無料化」国民健康保険料の引き下げ「介護保険の負担軽減」など子育てや福祉の充実を訴えました。

### 鼓動

県知事選、県議選が終わり、ようやく車のタイヤをノーマルタイヤに変えた。例年、3月はまだ降雪の可能性があることもあり、ともすれば大雪になることも想定されたので冬用タイヤを装着し続けていた。近頃は異常気象が多発している。選挙期間中も陽気な天気から急に冷え込み、あられ、みぞれが降るなど異常性が際立った▼天気が異常なのも安倍政権のせいだなどと言うつもりはないが、政界も異常続いた。「付度」発言で辞任した副大臣は記憶に新しいが、何らかの不祥事で辞任した閣僚・国務大臣は歴代内閣のなかでもかなり多いものと思われる。夏の参院選で何としても安倍暴走政治にノーの審判を下さなければならぬ。筆者も安倍政権の打倒へ全力を尽くす決意だ▼新元号が「令和」と発表された。選挙期間中、「元号が変わる。時代が変わる。政治も変わる。元号が変わったところでも聞いたが、元号が変わったところで社会の構造は変わらないし、それに伴う社会問題も解決するわけではない。国民は依然として苦しんでいる。▼共産党の綱領が明らかにしているようにアメリカいいなり、大企業・富裕層の優遇という点をたださない限り、政治の大本や社会構造の本質は変わらない。▼負けない草の根の戦いが続いている。一つは沖繩県辺野古の新基地建設を許さない戦い。もう一つは消費税10%への増税を許さない戦い。いずれも、民意を無視した強引極まる策動であり、断じて許すことはできない。市民と野党の本気の共闘で安倍政治ノーの審判を下すために筆者も引き続き頑張りたい。(純)

核兵器なき世界の実現へ  
ヒバクシャ国際署名推進講演会  
4月14日(日)  
午後1時30分～午後4時  
講演  
中国新聞記者  
**金崎 由美**さん  
会場：松江市・プラバホール  
(2階大会議室)  
主催：ヒバクシャ国際署名をすすめる島根県民の会(準備会)